

博物館だより 2016

No.35

平成28年5月7日発行
士別市立博物館

★テーマ展

端午の節句展

4月10日(日)

～5月8日(日)



博物館エントランスホールで、昭和初期～後半の五月人形と鯉のぼりの展示を行いました。



★宝石みがき

4月29日(金)

～5月5日(木)

ゴールデンウィーク企画としては初の試み、宝石みがき体験週間！紙やすりで丁寧にみがきあげたコハクや蛍石は、一つ一つがひかひかに輝いていました。

★ビザナー探鳥会

5月3日

(火)

アオジ



アカゲラ



春の心地良い天気の中行ったビザナー探鳥会では、18種類の鳥たちの姿や鳴き声を確認できました。小鳥たちの賑やかなさえずりや、枝から枝へひょんぴょんと移動する可愛らしい様子に癒されました。



蛍石



コハク



また、シラカバの樹液でおとしたコーヒーも皆さんに味見してもらいました。

6月の行事予定

★特別企画展「ハーフマラソン30周年展」

士別市でのハーフマラソン大会30周年、スポーツ合宿誘致40周年を迎えるにあたり、合宿誘致とマラソン大会の歴史、魅力を紹介します。

期間: 6月5日(日)～8月21日(日)

会場: 公会堂展示館2階特別展示室



★ジュニア博物館クラブ②初夏のフィールドビンゴ

日時: 6月11日(土) 10:00～12:00

★米づくり体験②除草

日時: 6月18日(土) 10:00～12:00

場所: きたグリーンファーム



申込・お問い合わせ先
〒095-0056
士別市西士別町2554番地
士別市立博物館 (0165) 22-3320

裏面も見てね



● 春の植物 ●

4月の間は肌寒い日が続きましたが、5月に入って気温も上がり、ようやく春の陽気を感じるようになりました。博物館の周辺でも、カタクリやミズバショウといった春の訪れを表す植物が次々と顔を出し、山は賑やかなよそおいになってきました。



エゾエンゴサク



エゾリュウキンカ



ミズバショウ



ガゼンソウ



カタクリ

今月号から、博物館だよりの裏面は学芸員が土別の歴史や自然等を紹介するコーナーになりました!!



この時期に花を咲かせる植物のことを春植物といいますが、夏には姿を消して、次に花を咲かせるまで地中で地下茎や球根という姿で過します。樹木が葉を茂らせてしまうと林床まで日光が入らなくなるので、その前に種をつけたり、栄養を蓄えようというわけです。地上に姿を現すのは春先から夏の短い間なので、春植物は、春の儂いものという意味で「スプリングエフェメラル」や「春の妖精」と呼ばれています。(学芸員本部)

